

表のイメージに含む共生の住まいに必要とされる設備

- (例)
- ・小規模簡易クリニック
 - ・図書コーナー
 - ・ホビー室（趣味の部屋、茶室など）
 - ・各室専用トランクルーム
 - ・サロン
 - ・コミュニティレストラン→地域との交流
 - ・障害者就労支援所
 - ・保育室
 - ・トレーニングルーム
 - ・各室キッチンと共用コモンキッチン
 - ・集う食堂とリビング（暖炉）
 - ・ゲストルーム（和室）
 - ・7~8坪程度のログハウス
 - ・共同風呂3つ（大1，小2）＋各室シャワー室
 - ・洗濯室（アイロンが掛けれるスペースも確保）
 - ・インターネット、電話、新聞を共有
 - ・中庭でのバーベキューや休息
 - ・各室中庭に面したテラス
 - ・コンポスト
 - ・学習塾
 - ・床暖房や太陽光発電

設備の他に共生での住まいを目指す中での留意点

- (例)
- ・家事労働からの開放
 - ・食事当番や掃除当番など当番制の採用
 - ・シングルマザーの入居＋関連事業での雇用
 - ・若年者入居者の入居＋関連事業での雇用
 - ・途中入居者の対象者、住み方のルール徹底
 - ・どこで靴を脱ぐのか（共同玄関？居室？）
 - ・地域の人との便利屋となり連携交流を図る
 - ・家賃設定
 - ・ペット飼育に関して
 - ・井戸水の使用（井戸堀が必要）
 - ・居室の防音対策
 - ・買い物難民入居者との共生
 - ・入居戸数の設定
 - ・希望間取り（入居者世帯人数によって差があり）